

新規購入機器

機器名	CCDカメラデジタル顕微鏡システム (キーエンス)
設置場所	第二共同研究棟 1階 暗室
概要	CCDカメラ付きデジタル顕微鏡システムを整備しました。高感度CCDカメラを用いることで、部屋の通常の照明で実体顕微鏡観察がおこなえるほか、蛍光の褪色も抑えることができます。現在、蛍光顕微鏡として主に利用されております。
機器名	分光蛍光光度計 F-2500 (日立)
設置場所	共同研究棟 3階 第二分光分析室
概要	高効率の回折格子と低ノイズ検知器系により、高感度化を実現しました。また水平形光束を採用した光学系によって 10 mm 角セルを使用しても試料量は 0.6 mL で十分です。さらに自動プリスキャンで未知試料の最適励起・蛍光波長を判別できます。測定モードは、波長スキャン、時間変化測定および定量演算が可能です。

機器名	Nucleofector system (amaxa)
設置場所	共同研究棟 2階 遺伝子工学実験室)
概要	この遺伝子導入システムは、エレクトロポレーション法に専用試薬を組み合わせることで高導入効率を実現する方法です。プラスミド DNA の他に、オリゴ DNA、mRNA、SiRNA の導入も可能です。
機器名	QuickGene-810 (富士写真フイルム(株))
設置場所	共同研究棟 3階 試料調整室
概要	本装置は自動核酸抽出システムで、その特徴は、多孔質メンブレン方式によって迅速、簡便、高効率の自動抽出を実現する点です。また対応キットを使用して多彩なサンプルから核酸を抽出できます。
機器名	TissueLyser システム ((株)キアゲン)
設置場所	共同研究棟 3階 試料調整室
概要	破碎容器中のサンプルとビーズを一緒にシェイクすることによって、サンプルが破碎・すり潰されます。アダプターには 96 コレクションマイクロチューブと 24マイクロ遠心チューブの 2 種類がセットできます。3 種類の直径のビーズが使用できます。
機器名	NanoDrop ((株)スクラム)
設置場所	共同研究棟 3階 試料調整室
概要	サンプル濃度は、わずか1-2 μ L の試料溶液が光ファイバー間で形成する液柱を光路長として測定されるため、通常、希釈なしで定量できます。核酸やタンパクの濃度測定に対し、各種の測定モードが準備されています。